

水系 1 液アクリル・シリコン樹脂

IP バリアコート

<低VOC F☆☆☆☆ トルエン・キシレン ゼロ配合>

水系 1 液型 高性能シミ止め塗料

IP バリアコートは塗り替え現場において問題となる事が多い下地のシミ・ヤニなどを抑える画期的な塗料です。しかも、上塗り塗料と同色に調色することにより“IP バリアコート1回塗り+水系上塗り塗料1回塗り”の全2工程で仕上がる内部の塗り替え専用下塗り水性塗料です。

IP バリアコートはホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆(認定)、トルエン・キシレン・鉛を含まず、TVOCも0.5%以下の安全・無公害塗料ですので、居室用塗料として安心してご使用いただける環境対応型塗料です。

■ 特 長

1. バリア性に優れる

アクリル・シリコン樹脂の優れたシール性に加え、特殊フィラーの配合によりシミ・ヤニの成分と反応(吸着)し、下地を安定化させます。シール性能、反応(吸着)性能の相乗効果によりシミ・ヤニを効果的、且つ強力に抑制します。また、下地を安定化させることにより経時によるバリア性の低下がありません。

2. 密着力に優れる

アクリル・シリコン樹脂の配合により、浸透性、シール性に優れた高性能シーラーとしてもご使用いただけます。また、ビニルクロスへも直接塗装が出来、内装のあらゆる下地についてシミ・ヤニ止め処理を含めたオール水系化が可能です。

3. 工程の短縮

IP バリアコートを上塗り塗料と同色に調色(淡彩色まで)することにより、塗装工程を増加させることなく、全2工程(下塗り1回+上塗り1回)でシミ・ヤニ抑えを含めた塗装が可能です。

4. 安全・無公害

完全水系(低VOC)タイプ、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆(認定)、トルエン・キシレン・鉛を含まない安全・無公害で、居室用としても安心してご使用いただける環境対応型塗料です。

■ 用 途

内部塗り替え全般、及びビニルクロスの塗装の下塗材

■ 荷 姿

100~125㎡/15kg 石油缶(1回塗り) 23~29㎡/3.5kg ガロン缶(1回塗り)

■標準施工仕様書

A. 内部シミ・ヤニ抑え、塗替え塗装仕様

工程	使用材料	希釈率(%) (%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装方法	乾燥時間	施工面積(m ²)
素地調整	基材表面のゴミ・ホコリ・油分などを除去。中性洗剤などを使用しシミ・ヤニを拭き取る					
下塗り	IP バリアコート	0~3(清水)	0.12~0.15	ハケ・ローラー スプレー	3時間以上	100~125m ² /15kg 23~29m ² /3.5kg
上塗り	艶消し仕上げの場合 ビニラー2100(弾性タイプ)	5~10(清水)	0.12~0.13	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上	64~75m ² /18kg 14~16m ² /4kg
	艶有り仕上げの場合 IP グロスE(エコ)	5~10(清水)	0.12~0.15	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上	60~65m ² /18kg 14~15m ² /3.5kg

B. ビニルクロス下地のシミ・ヤニ抑え、塗替え塗装仕様

工程	使用材料	希釈率(%) (%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装方法	乾燥時間	施工面積(m ²)
素地調整	基材表面のゴミ・ホコリ・油分などを除去。中性洗剤などを使用しシミ・ヤニを拭き取る					
下塗り	IP バリアコート	0~3(清水)	0.12~0.15	ハケ・ローラー スプレー	3時間以上	100~125m ² /15kg 23~29m ² /3.5kg
上塗り	艶消し仕上げの場合 ビニラー2100(弾性タイプ)	5~10(清水)	0.12~0.13	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上	64~75m ² /18kg 14~16m ² /4kg
	艶有り仕上げの場合 IP 軟質塩ビコートSi	5~10(清水)	0.12~0.15	ハケ・ローラー スプレー	2時間以上	60~65m ² /18kg 14~15m ² /3.5kg

■施工上の注意事項

- ◆施工前に本製品が用途・要望・現場の状況に的確であることを十分に確認の上、施工を行ってください。ご不明な点についてはお問い合わせください。
- ◆素地調整は必ず念入りに行ってください。また素地の乾燥を確認の上、付着物、および劣化した旧塗膜・除去物がないことを十分に確認してください（素地調整が不十分な場合は、塗膜の密着不良や変色などの原因となります）。
- ◆塗り替えにおいてヤニ・シミなどの汚れがひどい場合は中性洗剤などで十分に除去してください（塗装は翌日以降に行うことをお勧めします）。
- ◆可塑剤を含む下地への塗装は、必ず上記仕様書Bで行ってください。
- ◆木材など吸い込みがある基材に対してはIP含浸シーラーにて前処理を行うことをお勧めします。（IP含浸シーラーとの相乗効果により更にシミ、ヤニ止め効果が向上します）
- ◆原則としてIPバリアコートは原体使用ですが、必要な場合は3%以内で水希釈を行ってください（希釈率が3%を超えますとシミ、ヤニ止め効果が低下します）。
- ◆塗布量については現場における素地の表面状態などにより異なる場合がありますので、標準施工仕様書の塗布量を基準に調整してください。また、一度に上記記載塗布量を超えて厚塗りをしないでください。（塗布量を超える厚塗りは塗膜のワレなどの原因となります）。
- ◆塗装中、塗装後、および塗料の取り扱い作業時は換気を十分に行ってください。また特に塗装後は、乾燥のための換気を十分に行ってください（換気が不十分な場合、乾燥が遅れ塗膜性能が十分に発揮できない場合があります）。
- ◆乾燥を十分に確認した後、次の工程を行ってください。特に、冬期、梅雨期の施工は気温や湿度の影響により乾燥が遅れる場合がありますので、十分注意してください。
- ◆気温・素地の表面温度が5℃以下、露点湿度が85%以上の場合は塗装をお避けください。
- ◆本製品の保管、または運搬については、直射日光・風雨を避け、露点気温が40℃以上、0℃以下の状況には置かないでください。また、開缶後はなるべく早めにご使用ください。
- ◆本カタログの記載内容についてご不明な点、または記載内容以外についてはお問い合わせください。

□製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

代理店名



インターナショナルペイント株式会社

本社・工場 〒760-0080 香川県高松市木太町3072番地
TEL 087-833-3525/FAX 087-833-3527
関東支店 〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-952
TEL 048-644-3528/FAX 048-643-5291
関西支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋3-6-13
TEL 06-6978-6855/FAX 06-6978-6856
九州出張所 〒814-0174 福岡市早良区田隈1-14-1
TEL 092-836-5090/FAX 092-836-5091